

日米豪共同訓練（コープ・ノース24）の実施について

1月19日（月）から3月6日（水）の間、航空自衛隊は、日米豪共同訓練コープ・ノース24を実施しました。

航空自衛隊は1999年よりグアムで行われているコープ・ノースに参加しています。2011年からはオーストラリア空軍も参加し、3ヶ国共同訓練となり毎年実施されています。

本訓練は、部隊の戦術技量、日米共同対処能力及び3ヶ国間の相互運用性の向上を図るとともに、人道支援・災害救援活動に係る共同訓練を実施し、部隊の能力及び参加国間の連携要領の向上を目的として実施したものです。

本年度は、昨年度のCNに引き続きACE（Agile Combat Employment：迅速な戦闘運用に関する米空軍の作戦コンセプト）のシナリオによる訓練を実施し、機動展開等による戦力の柔軟な運用要領を試みるとともに、人道支援・災害救援活動に係る共同訓練においては、大量負傷者救護訓練を実施し、単独での対応が困難な災害等に対する、各国と連携した災害対応能力を向上させることができました。

航空自衛隊は、今後も訓練等への積極的な参加を通じて、同盟国・同志国との連携を深化・拡大し、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現及び地域の平和と安定に寄与してまいります。

